

# 数学ガッテン!! フォント

今日のガッテン度



2年 連立方程式

組

番

名前

## チャレンジ問題

1

次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(1) 連立方程式  $\begin{cases} 5x - 2y = 10 \\ 3x - 2y = 2 \end{cases}$  を解きなさい。

 $x =$  $y =$ 

H30全国学力・学習状況調査A3(3)

(2) 連立方程式  $\begin{cases} x + y = 5 \\ \frac{x}{6} + \frac{y}{3} = 1 \end{cases}$  を解きなさい。

 $x =$  $y =$ 

H29全国学力・学習状況調査A3(4)

(3) 次の方程式について考えます。

$$2x + y = x - y = 3$$

この方程式から、 $x$  と  $y$  の値を求めるために、2つの二元一次方程式をつくります。下の  に当てはまる式を書いて、連立方程式を完成しなさい。

$$\begin{cases} 2x + y = 3 \\ \text{ } \end{cases}$$

式

H28全国学力・学習状況調査A3(4)

(4) 次の問題について考えます。

### 問題

1個200円のプリンと1個120円のドーナツを買います。プリンとドーナツを合わせて12個買ったとき、代金の合計は2160円になりました。

買ったプリンとドーナツの個数をそれぞれ求めなさい。

買ったプリンとドーナツの個数を求めるために、プリンとドーナツの個数を  $x$  個、ドーナツの個数を  $y$  個として連立方程式をつくります。

$$\begin{cases} x + y = 12 & \dots\dots ① \\ \text{ } & \dots\dots ② \end{cases}$$

①の式は、「買ったプリンとドーナツの個数の合計」に着目してつくりました。②の式も、問題の中のある数量に着目してつくることができます。着目する数量を、下のアからエまでの中から1つ選び、 に当てはまる式をつくりなさい。

ア 買ったプリンとドーナツの個数の合計

イ 買ったプリンとドーナツの個数の差

ウ 買ったプリンとドーナツの代金の合計

エ 買ったプリンとドーナツの代金の差

式

H30全国学力・学習状況調査A3(4)

# 数学ガッテン!! フォント

今日のガッテン度



2年 連立方程式

組

番

名前

## チャレンジ問題

1

次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(1) 連立方程式  $\begin{cases} 5x - 2y = 10 \\ 3x - 2y = 2 \end{cases}$  を解きなさい。

$$\begin{aligned} x &= 4 \\ y &= 5 \end{aligned}$$

H30全国学力・学習状況調査A3 (3)

(2) 連立方程式  $\begin{cases} x + y = 5 \\ \frac{x}{6} + \frac{y}{3} = 1 \end{cases}$  を解きなさい。

$$\begin{aligned} x &= 4 \\ y &= 1 \end{aligned}$$

H29全国学力・学習状況調査A3 (4)

(3) 次の方程式について考えます。

$$2x + y = x - y = 3$$

この方程式から、 $x$  と  $y$  の値を求めるために、2つの二元一次方程式をつくります。下の  に当てはまる式を書いて、連立方程式を完成しなさい。

$$\begin{cases} 2x + y = 3 \\ \text{ } \end{cases}$$

$$\begin{aligned} \text{式} \\ x - y &= 3 \\ (2x + y = x - y) \end{aligned}$$

H28全国学力・学習状況調査A3 (4)

(4) 次の問題について考えます。

### 問題

1個200円のプリンと1個120円のドーナツを買います。プリンとドーナツを合わせて12個買ったとき、代金の合計は2160円になりました。

買ったプリンの個数とドーナツの個数をそれぞれ求めなさい。

買ったプリンとドーナツの個数を求めるために、プリンの個数を  $x$  個、ドーナツの個数を  $y$  個として連立方程式をつくります。

$$\begin{cases} x + y = 12 & \dots\dots \text{①} \\ \text{ } & \dots\dots \text{②} \end{cases}$$

①の式は、「買ったプリンとドーナツの個数の合計」に着目してつくりました。②の式も、問題の中のある数量に着目してつくることができます。着目する数量を、下のアからエまでの中から1つ選び、 に当てはまる式をつくりなさい。

ア 買ったプリンとドーナツの個数の合計

イ 買ったプリンとドーナツの個数の差

ウ 買ったプリンとドーナツの代金の合計

エ 買ったプリンとドーナツの代金の差

$$\begin{aligned} \text{式} \\ 200x + 120y &= 2160 \end{aligned}$$

ウ

H30全国学力・学習状況調査A3 (4)